学校番号	414

令和８年度　学看護メディカル科

教科	学看護メディカル	科目	（学）看護国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	メディカルＶブックス　看護・医療系の国語常識（学研教育出版） 完成　日本文学史ノート　三訂増補版（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では医療看護系分野で必要とされる国語知識を、身に付けてもらいます。
・自らの進路について深く考え、将来のために今できることを一つ一つ身に付けてください。特にこの授業では、語彙力の向上や人と円滑なコミュニケーションをとる力を身に付けることを意識してください。
・予習、復習、課題は必ず丁寧にこなしてください。また、提出物の期限は守り、定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自分で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

医療人として必要とされる国語知識を身に付ける。
【知識及び技能】
基礎となる国語知識を文化や歴史と共に深め、語彙力の向上をさらに図る。
【思考力、判断力、表現力等】
現代文を読解する方法を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
医療看護系分野の言語知識を広げ、深めようとする姿勢をもつ。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	医療看護系分野の言語知識を広げ、深める。また、日本文学史を理解している。	文章を読み、文学史を学ぶ中で、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で必要となる伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・明治初期～戦後の日本文学史 ［教材］ 「完成　日本文学史ノート 三訂増補版」 (啓流社)	a：明治初期から戦後の日本文学について、正しく理解している。 b：社会背景・活躍作家とその代表作を関係付け、明治以降の文学史の流れや特徴を理解している。 c:日本文学そのものに興味を持ち、時代背景と当時の文学作品の特徴を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート
	・医療・時事・読解用語 ・外来語・季語 ・難関語彙 ［教材］ 「看護・医療系の国語常識」 (学研)	a:日常生活では聞きなれない語句や、新しく学ぶ言葉を、日本の文化や伝統・社会との関りと関係づけて理解している。 b:新出単語の用例を理解し、正しく使うことができる。また、社会のどのような場面で使われるのか理解している。 c:様々な語句を自らの生活に関係付けて理解している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート
2学期	・高度経済成長期～現代の日本文学史 ・近現代の韻文 ［教材］	a：高度経済成長期から現代の日本文学・近現代の韻文について、正しく理解している。 b:文壇文学と大衆文学の違いをこれまでの学習と関係づけて、現代の文学の在り方を理解している。また、韻文の性質や特性と社会の社会との関りと関係づけて理解している。 c:これまでの学習と新たな単元を関連付けて、現代文学のあり方を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート

	・文法 ［教材］	a:日本語の正しい文法を理解している。 b:日常の話し言葉では意識されない正しい文法知識を基礎から学びなおし、正しい用法と用例を理解する。 c:日本語の文法を正しく理解し、自身の使っている言葉と比較しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート
3学期	・上代・中古の日本文学史	a: 上代・中古の文学史から、日本の文学の起こりを理解している。 b: 多様なジャンルの文学に触れ、現代文学への影響を理解している。また、文学が持つ歴史的価値を日本文化と日本の言語文化と共に理解している。 c: 上代・中古の多様なジャンルの文学に親しみ、それらが現代にもたらした影響について理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート
	・表現技法 ・熟語の組み立て ・字源 ・敬語	a:様々な表現技法を理解する。また、中国から伝来した漢字について現在の形に至った変化をたどる。 b: たくさんの文章から、表現技法が作中でもたらす効果を考えることができる。敬語について、敬意の方向や実社会における使われ方を正しく理解する。 c:現在の日本で使用される言語の変遷を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート

	・意見文や小論文における表現	a：原稿用紙の使い方など基本的な表現方法や豊かな語彙力を身につけ、自分の進路の分野を中心に様々な知識を取り入れようとしている。 b：課題として与えられた文章を正確に読み解き、自分の考えや感想を持つことができる。 b：テーマを踏まえた上で、自分の考えを構成図にまとめ、さらに適切な表現と言葉を用いて意見文や小論文を作成している。 c：テーマ、課題についてよく考え、意見文、小論文練習に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題 ノート	課題 観察 提出物 ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間